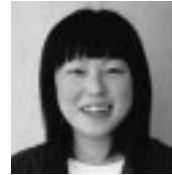




おしゃべりかわらばん



どんな動物に見えるかな

小さい子どもたちにも楽しんでもらえるよう、「ZOO(動物園)」と「AKITA」の文字で動物の顔をデザイン。色は動物たちが生活する「自然」をイメージして緑色にしました。来園するみなさんに気に入ってもらえたらうれしいな。

大森山動物園のロゴマークをデザインした、美術工芸短大の五十嵐信子さん



動物園のロゴマーク



開通した秋田南バイパス。後ろに見えるのは太平山。

庭先の桜の木には春の息吹の若芽がすっかりと待ちうけている(三輪直子 46歳・新屋) 今年の冬は、断続的な大雪に悩まされたが、袋小路の除雪を例年一回のところ、今年も三回も行っていただき、大変助かった(工藤和郎 75歳・東通) 春を心待ちにしていた先日、雪割草のつぼみを見つけ、うれしくなりました(大高紀代子 60歳・桜) もうすぐ春ですね。正月に逢ったばかりの孫にまた逢いたいジジ、ババです(相川修平 68歳・土崎)

係からひとこと 三月十五日に開通した秋田南バイパス「はまなすロード」。臨海十字路から浜田まで約九分と、大幅に時間短縮されました。風力エネルギーを活用したロードヒーティングや立体交差の仕掛けもある進化した道路で、こういう新しい道路ができると、まちも進化しているよううれしくなります。ところで、この読者の伝言板には、今年一年間で百十三人のかたにご登場いただきました。このコーナーの使い方を心待ちにしている読者のみなさんも多いようです。これからもうれしいこと、楽しいこと、いっぱい教えてください。掲載できなかつたかた、申し訳ありません！ (三浦)

伝統を築いた3年間

夢と希望を抱いて入学した時のことを今でもよく覚えています。伝統がなく、先輩もいないなか、ただ前へと進んできました。私たちが築いた土台を受け継ぎ発展させていくにはエネルギーが必要です。在校生のみんな、がんばれ！



御所野学院高校の卒業式で、第一期生代表の答辞を述べた加賀谷紗織さん

楽しかった幼稚園の思い出

幼稚園で一番楽しかったことは、かくれんぼやままごとで遊んだことです。幼稚園がお休みになるのは寂しいけど、4月からとりの下浜八田小学校でお兄さん、お姉さんたちと一緒にいろんなことを勉強したいです。



4月から休園となる下浜八田幼稚園を卒園した吉岡茉莉菜さん(左)、深井萌絵さん

みんなの安全が一番

通学路での子どもたちの誘導や横断歩道の渡り方などを教えてきました。この表彰は、これまで細く長くこの活動を続けてきた成果だと思います。ピカピカの1年生のみなさん、道路は右見て、左見て、もう一度右見てから、渡ってね！



内閣官房長官から交通安全功労者表彰を受けた市交通安全母の会連絡協議会尾川宏子副会長

奥が深い！太極拳

太極拳は一見、簡単そうに見えますが、とても深い。そして難しい。普段と違った筋肉を使うやわらかな動きが、全身に効きます！太極拳を始めてから、腰痛の具合もいいんですよ。健康のために、ずっと続けます。



軽スポーツ教室の太極拳入門に参加した島津弘さん(新屋)

広報クイズ

2月28日号の当選者

前回のクイズの答えは、問1が「115万円」、問2が「合併(協議会)」でした。

全問正解172通(応募総数172通)の中から、阿部りかさん(高陽青柳町)、小野雅子さん(御野場新町)、加賀屋三郎さん(外旭川字堂ノ前)、金澤奈穂子さん(八橋イサノ二丁目)、工藤敏子さん(濁川字草刈場)、田口久昭さん(太平寺中)、保坂富士夫さん(牛島南二丁目)、保坂美佳さん(仁井田本町二丁目)、増田容子さん(添川字地ノ内)、松本金一さん(大住一丁目)の10人のかたに図書券をお送りします。

3月の広報クイズは最終面です。よろしく!!

広報クイズの当選者は、毎回、市政記者室の記者のかたに厳正に抽選してもらっています(広報課)



武術太極拳入門で

読者のみなさんのページです。最終面に掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

井戸端 市民通信

月刊

読者の伝言板

敬称略

春をむかえ、四月からはいよいよ高校生！期待よりも不安がいっぱいの日々です。不安と言えば、秋田市の合併相手や状況がよくわからなかったのですが、広報二月二十八日号は大変参考になりました(成田恭介 15歳・山王) 大森山動物園の冬の観察会いいですね。もう、十年くら動物園に行っていないので、春になったら行ってみよう！(高橋廣美 31歳・八橋) 昨年は、大森山動物園の年間パスポートを購入し、五回ほど子どもたちと足を運びました。園内をぐるりと散歩すると、子どもも私もいい運動になります。今年は、猛獣舎が完成するとか。今から楽しみです(大石由紀子 33歳・新屋) 二月十四日号のあきたノスタルジー、スケートをする子どもの無邪気な顔が印象的です。その子どももいまは五十歳を超えているでしょうね(伊藤羊造 71歳・大住) あきたノスタルジーが楽しみです。 知人がいるかもしれない。なんて考えると目も皿のように大きくなっている自分です(長崎治久 53歳・榎山) 私たちが子育ての時は、戦中戦後の苦しい時代で、夢中で育てました。今は老齢になつてしまつたけど、毎月の広報伝言板は楽しみます。若い人たちの元気をもらつて丈夫に過ごしています(鎌田チヨ 85歳・茨島) 三人目を出産したばかりの母です。妊娠がわかつた時は、三人の親としてやっていけるか不安でかなり悩みました。つわりで食べ物ものどを通らずやせてしまつたんですが、今は子どもが生まれてくれて本当に良かったと思います。一番上の子は、かわいがってくれるし、だんなも私に気を使って家の事を全部やってくれるし、赤ちゃんはかわいいし。案ずるより生むが易いとはよくいったものです(大山美紀 32歳・広面) 今朝起きたらまた真っ白に道がおおわれていたけれど、

地域のお話 おしえて!!

下浜八田幼稚園、2人だけの卒園式 お別れはさびしいけれど、またいつか...

3月15日、下浜八田幼稚園の卒園式が行われました。郊外の公設保育施設として昭和31年に開園し、今まで309人の卒園生を送り出してきましたが、この4月に入園する子どもがいないため、ひとまずお休みすることになります。

この日卒園したのは、吉岡茉莉菜さんと深井萌絵さんの2人(左ページにも写真)。会場には幼児園OBや、地域のみなさんも集まり、2人の卒園を温かく見守りました。

幼稚園運営委員会の細部吉光さんは「地域のみなさんの支えがあって、八田の子どもたちはのびのび育っています。園児がいなくなるのは寂しいですが、幼児教育の場を残したいのは地域みんなの願い。幼稚園を応援してくれたみなさんへの恩返しのため運営委員会は残して、またいつか地域と幼児園の橋渡しをしたいです」と話してくれました。



お別れのあいさつに、なみだ...

このコーナーでは、町内や地域のいろいろな話題を紹介していきます。耳よりのニュースがありましたら、広報課までお知らせください。

☎(866)2034 FAX (866)2287